



DSO参加機関イベントのご案内

■産総研■

ひとりひとりが輝くダイバーシティ・マネジメント ～変化の早い時代を生き抜く多様性とイノベーション～ 講師：内永ゆか子氏

日時	平成30年7月6日(金) 14:30- 16:30 (14:00受付開始)
場所	産業技術総合研究所 つくばセンター中央 共用講堂 (茨城県つくば市東1-1-1)
開催機関	産業技術総合研究所
申込	事前申込制 E-mail div-sec-ml@aist.go.jp https://unit.aist.go.jp/diversity/ja/event/180706_div_event.html



講演会

ひとりひとりが輝く
ダイバーシティ・マネジメント
～変化の早い時代を生き抜く
多様性とイノベーション～

講師：内永ゆか子氏

NPO法人 J-Win (ジャパン・ウィメンズ・イニシアティブ・ネットワーク) 理事長

場所：産総研共用講堂 茨城県つくば市東1-1-1 中央第1
自動車での御来所の場合は正門守衛所での入場受付が必要です。

日時：2018年7月6日(金)
14:30～16:30 (14:00 受付開始)

全国TV会議配信します！

北海道センター(第2会議室)、東北センター(1V会議室)、FREA(本館3F 共用会議室)、東京本部(第1会議室)、関西研修センター(本館4F TV会議室A)、中部センター(第2会議室)、関西センター(第1会議室)、中部センター(小会議室2)、西田センタ(研修室)、九州センター(1V会議室)

事前申込はメールにて受付中
E-mail: div-sec-ml@aist.go.jp
電話：029-862-6418
会場準備のため事前申込をお願い致します。

産総研
NATIONAL INSTITUTE OF ADVANCED INDUSTRIAL SCIENCE AND TECHNOLOGY

本講演会は、平成28年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」によるものです。

【概要】

“本講演会は、文部科学省 平成28年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」の事業として行います”

同時に、全国の産総研地域センターへTV会議配信を予定しております。

※産総研外の方、お問い合わせください。お近くの会場をご案内いたします。”



DSO参加機関イベントのご案内

■千葉大学■

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型） 「共同研究推進のためのセミナー・合同研究発表会」

日時	平成30年7月27日(金) 13:00~17:00
場所	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所(千葉市) 重粒子治療推進棟 2Fホワイエ
開催機関	量子科学技術研究開発機構 ダイバーシティ推進室 (千葉大学共催)
申込	事前申込制 E-mail nirs-diversity_ss@qst.go.jp http://www.gakuzyutsu.chiba-u.jp/diversity/info/houiken_h300727.html

**共同研究推進のためのセミナー
合同研究発表会**
平成30年7月27日(金)
13:00~17:00
会場：量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
重粒子治療推進棟 2F 大会議室 / ホワイエ

講演者
13:05~13:15 開会挨拶
私的顧問 量子科学技術研究開発機構 理事
13:15~13:55 「勤の知能としてのAI応用研究」
志井 浩志 量子科学技術研究開発機構 重粒子治療推進棟 重粒子治療推進室 主任研究員
13:55~14:05休憩
14:05~14:55 「相手に応じた研究の仕方」
「新分野・外部資金等の獲得の目的」
栗本 隆夫 量子科学技術研究開発機構 重粒子治療推進棟 主任研究員
14:55~15:00 閉会挨拶
理事 志井 浩志 量子科学技術研究開発機構 ダイバーシティ推進室 主任研究員
15:00~15:15 質疑応答
15:15~17:00 合同研究発表会
17:15~ 閉会挨拶

申込案内
メールで申込。申込締切日(当日午後1時)まで。
申込内容：発表題目、発表者名、所属機関名を記入してください。
申込締切日：7月27日(金) 13:00まで。
申込先：nirs-diversity_ss@qst.go.jp 043-206-3022

共同研究発表会
量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
重粒子治療推進棟 2F 大会議室 / ホワイエ
申込先：nirs-diversity_ss@qst.go.jp 043-206-3022

共同研究発表会
量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
重粒子治療推進棟 2F 大会議室 / ホワイエ
申込先：nirs-diversity_ss@qst.go.jp 043-206-3022

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）
（文部科学省科学技術人材育成費補助事業）

【概要】

“千葉大学では、東邦大学と量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所と連携し、共同研究推進に取り組んでいます。

このたび、以下の合同研究発表会の開催に先立ち、発表者を募集いたします。

性別、専門分野を問わず、東邦大学、放医研との共同研究に関心のある方はどなたでも発表できます。大学院生による発表も歓迎いたします。
また同日に、共同研究推進のためのセミナーを開催します。共同研究で代表者を務めた経験を持つ研究者による経験談の紹介や、科研費・外部資金等の獲得のために必要な伝えるスキルに関する講演が行われます。ぜひ合わせてご参加ください。”

DSO新規加入機関のお知らせ

量子科学技術研究開発機構/QST (平野俊夫 理事長)が新たにDSOへ加入されました。量研では、多様な人材の活用により、優れた研究成果を持続的に創出できるようなダイバーシティ環境の実現に向け、研究支援要員の配置、研究インターンシップ、他機関との連携研究への助成等、研究力向上及びキャリアアップ支援のための取り組みを行っています。

*2018年4月1日に「ダイバーシティ推進室」を設置

所在地：千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号
担当部署：ダイバーシティ推進室 TEL 043-206-3022
Webサイト：<http://www.qst.go.jp/>

この度、DSOは新たに1機関をお迎えし、19メンバー機関となりました。
今後ともよろしく願っています。

最近行われたイベント開催報告

千葉大学 第4回 ダイバーシティCHIBA 研究環境促進コンソーシアム連絡会

平成30年6月18日(月) 千葉大学にて「研究環境促進コンソーシアム連絡会 DSOの事例から学ぶ ～他機関との連携によるダイバーシティ推進と発展～」を開催いたしました。

今回は、国立研究開発法人 産業技術総合研究所 総務本部 ダイバーシティ推進室長 井出 ゆかり様をお招きし、DSO設立の経緯や、他機関との連携方法、具体的な活動内容等についてご講演いただきました。

当日は11機関17名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。参加した各機関の担当者からは、「他機関と協力して取り組みを進めることのメリットを伺えてよかった。」「新しく導入できる例が多く、参考になった。持ち帰って取り組みに入れていきたい。」等のコメントが寄せられ、有意義な会となりました。今後もコンソーシアム連絡会を開催し、ダイバーシティ研究環境の促進と成果普及に取り組んで参ります。

<ダイバーシティCHIBA研究環境促進コンソーシアムとは>
<http://www.gakuzyutsu.chiba-u.jp/diversity/support/index.html>





DSO事務局便り： 海外の育児スタイル

先日、休暇で訪れたFrankfurtで米国大学時代のドイツ人の親友夫妻に会いました。3歳と5歳の娘さんがいます。子育て真っ只中な生活の全貌を明かしてくれましたので、皆さんにご紹介します。



ギムナジウム(公立中高一貫校)の数学物理教師であるサンドラ(37)とクレジットカード会社勤務のご主人(39)は、フランクフルト近郊の小さな街にある5階建て新築マンションの最上階(約180平米)に住んでいます。家の中には子供のベッドルームと遊び専用の部屋があり、キッズ等身大のかなり大きなミニチュアキッチンや、多種多様な木製のおもちゃ、室内でも遊べる三輪車、キックボードがあり、テラスには日本なら公園に置いてあるような木製ピクニックテーブルの子供サイズのものやビニールプールがあります！ 夏時間(3月末～10月末)のドイツは、5月から7月の夜22時位までは大変陽が明るいので、寝ないではしゃいでしまいそうですが、幼児のいるどこの家庭もしっかり子供を遊ばせた後は、カーテンをきっちり閉めて19時過ぎには絵本を読んで寝かしつけ、自分たち大人の時間も大切にしています。

夫妻は、最近日本でも注目されている「森の幼稚園 (Waldkindergarten)」に娘たちを通わせています。森は家のすぐ裏手です。木登り、昆虫採集はもちろん、花々から手で蜜を集めて、蜂蜜ならぬ人蜜を作ったりもします。(サンドラは、これまで生きて来て知らなかったことを子供たちから随分教えられたと言っています)。年齢混合クラスのため、自然に年長さんが小さい子の面倒を見るようになります。(ただし、兄弟姉妹がいる場合はクラスを分けています)。雨の日も風の日も自然の中での幼児教育。よほどの豪雨でない限り、しとしと雨くらいでは建物内には入らないのだそうです。一日中、それも毎日、また年間を通して、文字通り森の中で過ごすわけです。フランクフルトは北海道の気候に似ているので、夏でも少し肌寒い日もありますが、子供用のアウトドア用衣類はしっかりしているので冬も全く問題ないのだとか。きっと、就学前には体力は勿論、精神力もつくことでしょう。

現在、サンドラは育児休業を取っており、7月から仕事を再開します。ご主人は残業で大変との事ですが、それでも19時には退勤出来るそうです。「育児休業」(現在は「両親時間」と言う)は、産前産後休業後に続けて利用可能な制度で、職場への復帰が保証されています。父親も交代できる、或いは両親同時に取得出来るとのことです。私は今まで、ドイツの三大幼児教育である、シュタイナー、モンテッソーリ、森の幼稚園(それぞれ発祥地はオーストリア、イタリア、北欧デンマーク)について本で読んだことはありましたが、このようにのびのびと育てている様子を実際に目の当たりにして、「こうして育った野生児のつくるドイツは、一体どんな国になるんだろう！」と驚嘆しました。さすが、環境教育や子供教育の盛んなドイツだと思いました。また、多くの公立教育機関やギムナジウム・大学は全額無償。育児手当や教育費無償などについては、何と、外国人や留学生も対象となっています。何とも太っ腹な国です。すばらしいではありませんか！(でも、実は所得税が42%と聞けば、当たり前と言えば当たり前、日本とドイツ、どちらが良いかは悩むところであります。) (山田)

【育児休業】

- ・産前産後休業：14週間
- ・育児休業：8歳まで最長3年、うち2年繰延べ・3回分割取得可能



【育児手当】

- ・育児支援手当(エルターンゲルト) 14ヶ月分支給 €300-1800(収入の67%を補填)
- ・児童手当(キンダーゲルト) 18歳迄毎月支給(学生は25歳迄) €194~200(第1-3子), €225~(第4子以降)
 - ・ <http://english.welcome.hamburg.de/kids-and-family/4591208/parental-allowance/>
 - ・ <http://english.welcome.hamburg.de/kids-and-family/4591084/child-benefit/>
 - ・ <https://ikumen-project.mhlw.go.jp/employee/system/> (日本)

ダイバーシティサポートオフィスのご案内

ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)は、研究教育19機関をメンバーとして、平成19年より男女共同参画を連携して推進しています。参加機関相互のイベント等の機会提供、情報交換を行っています。当初は、科学技術振興調整費の支援を受けてスタートしましたが、現在はイコールパートナーシップでメンバーが対等に運営する、より開かれたDSOとして活動しています。

*DSOメンバー：産業技術総合研究所、森林総合研究所、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、千葉大学、筑波大学、神戸大学、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、岡山大学、宇宙航空研究開発機構、大阪大学、量子科学技術研究開発機構(加入順)

「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、それぞれの機関で働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして発行しております。当Letterの紹介も歓迎いたします。